

2011年10月3日

“瞬時に止める” “選手にストレスを与えない” 二つの相反する要求を
バランスさせたバスケットボール専用チューニング ホイッスル

『2011年グッドデザイン賞』を受賞



競技用ボールとスポーツエキップメントメーカーの株式会社モルテン(本社:広島市西区、代表取締役社長:民秋清史)は、バスケットボールの審判に最適な、笛の音の立ち上がりが強く、太くキレがある音色が特長のバスケットボール審判員用ホイッスル『ブラッツァ』で、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する『2011年度グッドデザイン賞』を受賞しました。このたびの受賞は、バスケットボールをジャッジする審判員の、使い方を十分考慮した素材の選択、形状などにその設計思想が見て取れることや、プロの競技に求められる正確なジャッジを支援するモルテンのモノ作りに対する姿勢が評価されたもので、同賞の受賞は6年連続10回目となります。

今後も、モルテンブランドの根幹にある“For the real game”を実現するため、機能・デザインともに優れたボールとスポーツエキップメントを開発し、スポーツに関わるすべての人の意思・力が100%発揮され、“本物のゲーム”が行なわれる環境を整えることにより、スポーツ関連業界全体の更なる発展に貢献してまいります。

NEWS RELEASE

■ 日本デザイン振興会の評価コメント

バスケットボールをジャッジする審判員の、使い方を十分考慮した素材の選択、形状などにその設計思想が見て取れる。プロの競技に求められる正確なジャッジを支援する、まさにモノづくりのプロのなせる技である。

■ ブラッツァとは

『ブラッツァ』は、“ゲームを瞬時に止める” “すぐそばのプレイヤーに過度のストレスを与えない” という二つの相反する要求を絶妙にバランスさせた『立ち上がりの強い、太く切れのある音』をバスケットボール専用チューニングしています。また、ゲーム中ホイッスルをくわえ続ける審判員のために、プラスチック本体にチタンのマウスピースフレームを接合し、柔らかい弾性プラスチックで包み込んだハイブリッド構造を採用しています。これにより、一般的なホイッスルと同じ6mmの厚さでありながら、歯が安定する適度な柔らかさと決してかみ割れることのない堅牢性を両立しています。

■ デザイン

特徴的な三角形のフォルムは、バスケットボール審判員用のホイッスルのあるべきカタチを迫った結果生まれました。ブラッツァ(BLAZZA)のネーミングのもととなったこの独特のフォルムは、瞬発力と推進力を秘め海中を優雅に泳ぐエイ(イタリア語でRAZZA)をモチーフにしており、ゲームの流れを見極めながら必要なときに大音量(英語でBLAST)で、ゲームを断ち切る審判員の姿を象徴しています。



■ 開発者コメント

開発にあたり、ブラッツァのデザインは、従来のターゲットユーザーのプロファイリング手法を採らず、特定のレフリーとやりとりを繰り返しました。名人のやりかたを深く掘り下げることによって、合理的で普遍的な道具のデザインに辿り着けると考えたからです。その結果、長くくわえ続けるストレスを軽減するために、通常ホイッスルの後方部分にある“握る部分”を削ぎ落して軽量化を図り、三角形の嘴のようなデザインに辿りつきました。また、ブラッツァの設計・検証・生産は、当社スポーツ事業本部と自動車部品製造の工業用品事業本部でクロスオーバーチームを組織し取り組みました。

■ グッドデザイン賞(Gマーク)とは

「グッドデザイン賞」は、公益財団法人日本デザイン振興会が主催する、総合的なデザインの推奨制度です。その母体となったのは、1957年に通商産業省(現経済産業省)によって創設された「グッドデザイン商品選定制度(通称Gマーク制度)」であり、以来50年以上にわたって、私たちの暮らしと産業、そして社会全体を豊かにする「よいデザイン」を顕彰し続けてきました。

その対象はデザインのあらゆる領域にわたり、受賞数は毎年約1,000件、50年間で約37,000件に及んでいます。賞はこの「グッドデザイン賞」と、さらに複数の「特別賞」で構成され、受賞したデザインには「Gマーク」をつけることが認められます。「Gマーク」は創設以来半世紀以上にわたり、「よいデザイン」の指標として、その役割を果たし続けています。

■ モルテンのグッドデザイン賞受賞歴

昨年受賞した、ハンドボール『アセンテック ヌエバX』と、サッカー審判員用ホイッス『バルキーン』をはじめ、着る拡声器『パワードボイス』、ハンドポンプ『ペンタゴン』など、ボール以外にも数多くの製品で評価をいただいております。今回で6年連続10回目のグッドデザイン賞受賞となります。